

第1回徳島市SDGs未来都市実現協議会 会議録

と き 令和4年8月4日（木） 午後2時から午後3時40分まで
ところ 徳島市役所 13階 第一研修室
出席者 委員18名、事務局ほか8名

1 開会

2 出席者紹介

3 市長あいさつ

本日は、大変お忙しい中、第1回徳島市SDGs未来都市実現協議会に、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、地球温暖化に伴う自然災害の甚大化や相次ぐ紛争、エネルギー問題といった世界的課題に加えまして、徳島市のような地方都市におきましては、人口減少に伴う社会経済の担い手不足や中心市街地の衰退、少子化の進行など大きな社会課題が山積しておりまして、こうした課題解決に向けたSDGsの取組が、世界各国で現在進められているところでございます。

徳島市におきましても、これまでダイバーシティの推進やジェンダーギャップの解消などの取組を積極的に進めてまいりました。また、民間企業と徳島市の連携の場となる公民連携プラットフォームの運用をはじめ、SDGsの理念や取組に関する広報・PRに努めてまいりました。

こうした取組をさらに加速するため、SDGsの実現に向けて積極的に取り組んでいる都市を国が毎年度選定している「SDGs未来都市」に徳島市の取組を提案しましたところ、去る5月20日に「令和4年度SDGs未来都市」として、本市が選定されました。

今後は、様々な社会課題の解決に向けまして、事業計画の作成など、より取組を具体化しまして、全国の地方都市のモデルとなるべくSDGsを推進してまいりたいと考えております。

なお、SDGsの推進に当たっては、環境、市民協働、ダイバーシティ、かわまちづくりなど様々な取組でSDGsの推進を行ってくださっている皆様方に本日はお集りいただいております。SDGsの推進は行政だけでなく、民間企業、大学、青年会議所など様々な団体、様々な取組と一緒にみんなが主体的に自分ごととして考えて行動するようにならないと、SDGsの達成は難しいと考えております。皆様のお力を貸していただきまして、徳島市としましても、皆様の取組をバックアップしながらSDGsを達成していけるようなまちにしていきたいと考えておりますので、委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しいこととは存じますが、何卒ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私からのあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

4 議題

(1) 徳島市SDGs未来都市実現協議会設置要綱について

(事務局) 資料1 徳島市SDGs未来都市実現協議会設置要綱(案)
に基づき説明。

(2) 役員選出

設置要綱第6条第2項の規定に基づき、委員の互選により加渡委員に決定。
設置要綱第6条第3項の規定に基づき、会長の指名により水ノ上委員に決定。

(会長)

ただいま会長を拝命いたしました四国大学の加渡でございます。どうぞよろしく願いいたします。

この協議会は、各界の代表の皆様がお集りの会でございます。SDGs未来都市に住んでいる私たちが、この徳島のことを誇りに思えるような、そしてまた、この徳島に愛着を持ち大好きな徳島の持続可能性を考えていけるような主体的かつ積極的な会議にしてみたいと思いますので、皆様方の忌憚のないご意見、色々なアイデアを賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(副会長)

副会長を拝命いたしました徳島文理大学の水ノ上でございます。私はこれまで人口問題に取り組んでまいりました。徳島県からなぜ人が流出してしまうのかを研究しておりました。会長の補佐役として精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(3) 徳島市SDGs未来都市計画について

(事務局) 資料3 徳島市SDGs未来都市計画(素案)について
に基づき説明。

(会長)

ありがとうございました。ただいまの説明について、委員の皆様からご意見やご質問をいただけたらと思います。どういう観点からでも結構です。

(委員)

資料3の8ページの官民連携の電子地域通貨の導入は現在どれくらい進んでいるのか、いつくらいに導入されるのでしょうか。

(事務局)

電子地域通貨につきましては、街中での清掃作業や何らかの活動に携わった際にポイントがつき、そのポイントを地域通貨として色々な体験などに活用できるような仕組みをイメージしていますが、まだ検討段階でございまして、具体的にいつから導入というところまでは決まっておられません。仕組みを含め、これからの検討となっております。

(会長)

この運用に関しても、皆様方から色々なアイデアやご意見をいただけたらと思っています。他はいかがでしょうか。

後から意見交換の時間もございますので、一先ず先に進めさせていただいてよろしいでしょうか。

(4) 部会の設置について

(事務局) 資料4 徳島市SDGs未来都市計画の推進体制

資料5 徳島市SDGs未来都市実現協議会 部会構成委員(案)
に基づき説明。

(会長)

ありがとうございました。それではまず、委員の皆様方にお諮りをいたします。部会を置くということにつきましてはご異議ございませんか。よろしいでしょうか。では、部会を設置させていただきます。まず、部会の名前ですが、仮称で、「こども部会」、「女性部会」、「官民連携部会」となっていますが、この名称についてはいかがでしょうか。こんな名称がいいなどがありましたら、ぜひ積極的にご提案をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(委員)

チームに分かれてから、その部会で決めた方がいいのではないかと思います。

(会長)

チームに分かれてから決めるという案もございしますが、いかがですか。

事務局の案としまして、この場で決めることにより、名称に統一性をもたせるという提案であります。部会に任せてというご意見もございしますがどうでしょうか。

(委員)

私は「女性部会」ということなのですが、女性だけの問題ではないのに女性部会とするのはどうかなという思いがあったので。SDGsのゴールの中で「ジェンダー平等を実現しよう」というのがあるので、女性を使うのであればジェンダーを使う方が今の感覚とし

て近いのではないかなと思います。

(会長)

女性だけの問題ではないので、女性というよりは「ジェンダー部会」というのでいかがでしょうかという意見が出ました。他はいかがでしょうか。

SDGsの17のゴールのロゴとか、色々なキャッチフレーズ、あるいは本文の中から単語を拾うというのもありだと思います。

例えば、「こども部会」のネーミングはいかがでしょうか。

(委員)

ご質問させていただいてよろしいでしょうか。部会の名前についてなんですけれども、部会の名前は市民の方々にも公表される予定ですか。

(会長)

事務局、いかがでしょうか。

(事務局)

この協議会自体が公開の協議会でございますので、名称についても公表されていくということになります。

(委員)

それを踏まえて意見を出させていただきます。市民の方が見た時に、わくわくするような可愛いネーミングの方が、市民の方から受け入れられやすいのかなと思いますので、子ども部会だけではなくて、例えば、平仮名の「みらいこども」というような部会の名前であるとか、キャッチーな言葉にするのが良いのではと思います。

(会長)

「みらいこども」、あるいは「ジェンダー」と片仮名でいくのであれば、「みらい」をとって「フューチャー」とかわくわくするような感じですね。

「官民連携部会」はいかがでしょうか。

(委員)

先ほどの事務局からの説明の中で、資料3の6ページの中で、市立小中学校、高校でSDGsの教育が充実してきたというニュアンスの説明がありましたが、それならば決めてもらうのがいいのかなと思って。名前ってすごく大事だと思うんです。市民に浸透する名前を付けるための専門力を私は持っていないので、SDGsの教育を先行して彼らに施してきたのであれば、彼らに決めてもらうというのが私の意見です。

(会長)

未来世代に決めてもらったかどうかというご意見でした。

(委員)

「官民連携部会」はちょっと堅苦しいなという感じがします。色々な話し合いができるような大きな括りということで、「官民連携部会」とつけられたと思います。集まっている方の所属を見るとまちづくりの方もいらっしゃいますし、SDGsの17のゴールの中にも「住み続けられるまちづくりを」というのがあるので、馴染みのある「まちづくり部会」などでもいいのではと思っています。

(会長)

「まちづくり部会」という意見も出ました。ありがとうございます。

これから進めていくうえで呼び方は決めておかなければいけないということがございます。いかがいたしましょうか。

「こども部会」であれば、子ども達に決めてもらったかどうかというご意見もありました。副会長、いかがでしょうか。

(副会長)

皆さんのお話を伺って、それぞれ納得できる意見ばかりなのですが、各部会に分かれていくつかの候補、2つか3つくらいアイデアを出していただいて、それを持ち寄って皆さんに納得していただけるものに決めてはどうでしょうか。

(会長)

分かりました。この後、部会ごとのメンバーで分かれていただきます。部会の中で、方向性、今自分達が望んでいることなどが意見として出てくると思います。部会ごとのミーティングの中で自分たちの部会の名前をどうするか話し合いをして、終わった後にご意見をいただきたいと思います。

それでは、部会に分かれて40分くらい時間をとらせていただきますので、部会の中で自己紹介、今活動していらっしゃる内容、今後の方向性等をご検討いただければと思います。話し合いの後、全体会に戻りたいと思います。

～ 各部会に分かれて協議 ～

(会長)

それでは、各部会で出ました意見や内容を共有させてください。「(仮称) こども部会」から報告をお願いします。

(事務局)

「(仮称) こども部会」で出てきた話を報告させていただきます。

まず、何をやるかということですが、子どもたち、特に小学生を考えた場合に、様々な経験をする機会が少なくなっており、また、学力によって判断されるような価値観が強くなってきている部分もあるので、子どもたち自身に自尊心や自己肯定感を持ってもらいたい、様々な経験をすることにより自分自身で何ができるか、どんなことができるかを学んでいってほしいということが課題であり、それを解決していかなければいけないのではないかという話になりました。

メンバーの皆さんは、仕事や個人の活動で様々なSDGsに資するような活動をされています。まずはその活動を、徳島市のホームページやFM局などの中で取り上げ紹介していき、さらに発展させていく。例えば、小学生と大学生が一緒になって、食育や電力、脱炭素というテーマでワークショップができるのではないかという話をしました。

委員の方からのご意見で、壮大なものをビジョンとして持たなければいけないけれども、いきなりはできないので、まずは今年度何ができるかを考えていきましょう、そのうえで次年度に向けて発展させていきましょう、という話になりました。

部会の進め方に関しては、メーリングリストを作り、一人が全員に発信し、それに返す場合も全員で共有するという形で進めていこうと思っております。

開催の頻度に関しては、状況を見ながら進めていきたいという話になりました。

最後に部会の名前ですが、子どもをテーマにしていきますが、必ずしも子どもだけではなくて、それに関わる保護者の方や大学生、地域の方も含めて関わっていきたいということで、「みらいこども部会」もしくは「みらい部会」のいずれかで、他の部会の名前とのバランスを見ながら決定できればという話になりました。

(会長)

ありがとうございました。次に「(仮称) 女性部会」の内容を教えてください。

(事務局)

「(仮称) 女性部会」で話し合ったことを報告させていただきます。

まず、部会のミッションについて話し合いをしましたが、検討すべき事項としまして、今現在、徳島市においても色々取組はしていますが、市の取組以外の取組の把握も必要ではないのかということで、働きやすい職場の仕組みの声を拾うこと、女性が働きやすい職場づくりとしてどういったところを工夫しているのかなど、まずは、どんな課題があるのか、課題把握のための掘り起こしが必要ではないかという話になりました。そこで、実際に企業に訪問したり、アンケートを行ったりして、部会としてどういうことを検討していくべきかを考えていくという話になりました。

部会の進め方に関しては、オンラインで行う、集まる、メールなどそれぞれ意見があり、臨機応変に委員の皆さんとやりとりをさせていただきたいと思っています。

最後に部会の名称ですが、「ジェンダー部会」、「みんなで作るみらい部会」、「男女共同参画部会」の3つが意見として出ました。

(会長)

ありがとうございました。最後に「(仮称)官民連携部会」の内容を教えてください。

(事務局)

「(仮称)官民連携部会」で検討しました結果をご報告させていただきます。

まず、部会の名称ですが、他の部会の名称の状況も見ながらということで、「みらいパートナーシップ部会」、「パートナーシップ部会」の2案が出ております。

部会で話し合いをしました内容ですが、「官民連携部会」ということで、行政と民間事業者、そして市民が連携できる土台となる仕組みを作るということで話を進めていくことになっております。SDGsに関する認知度は企業では高まりつつありますが、まだまだ一般的ではないということで、まずは認知度を高めていくということと、企業に対してはSDGsの取組を客観的に評価できるような仕組みが必要であろうということを議論いただきました。このあたりの具体的な仕組みについて検討していくところで話がまとまりました。

(会長)

ありがとうございました。それぞれの部会で非常に密度の濃い話し合いをしていただきました。それでは、今日、方向性を決めなければいけないのが名前です。

各部会からアイデアをいただきましたが、どの部会も「みらい」が入っていて紛らわしくなりますので、それを外しますと、「官民連携部会」は「パートナーシップ」という言葉がキーワードとなっております。

「女性部会」は「男女共同参画」と漢字でいくか、「ジェンダー」と片仮名でいくかということですね。

「こども部会」は「みらい」だけでいくか、もしくは「みらいこども」でいくか。ここから拾うと、「みらい部会」、「ジェンダー部会」、「パートナーシップ部会」がキーワードとなってきますが、いかがでしょうか。

「ジェンダー」と「パートナーシップ」が片仮名です。「みらいこども」、「みらい」が全部平仮名です。いかがでしょうか。

(委員)

「みらい部会」というのは、いかにも子どもが将来の成長の時にSDGsを考える、そういう意味合いがあると思うので、私は「みらい部会」がいいと思います。

(会長)

「みらい部会」、「ジェンダー部会」、委員が入ってくださったのが、「パートナーシップ部会」ですね。この3つの名前よろしいですか。

(委員)

そうですね。

(委員)

私も、「官民連携部会」については、分かりやすく表現できるものとして「パートナーシップ」、「女性部会」につきましても「ジェンダー」、「こども部会」につきましても、委員の方がおっしゃっていましたが、子どもの将来、これからに向かって考えていくというのであれば「みらい」というのがふさわしい名前であると考えております。

(会長)

ありがとうございます。

(委員)

私は「官民連携部会」ですが、「パートナーシップ部会」でいいと思っています。

(会長)

ありがとうございます。皆様、いかがでしょう。

(委員)

ジェンダーという言葉、SDGsもそうだと思うのですが、何となく聞いたことはあるけれどよく分からないみたいなどころがあって、言葉の意味を広げていくということを含めて、今ご提案いただいた3つの部会名でいいのではないかなと思っています。

(会長)

ありがとうございます。では、部会名は「みらい部会」、「ジェンダー部会」、「パートナーシップ部会」でよろしいでしょうか。事務局、よろしいですか。

(事務局)

委員の方、そして副会長からもご提案がありましたが、各部会で名称を話し合う中で、部会の役割やミッションの共有にも繋がったと思っております。貴重なご提案であったと思います。その中で出てまいりました名称ということで、事務局としては異論ございません。

(会長)

これからは、SDGs 未来都市実現協議会の中の3つの部会で、まずは今できること、今年できること、来年度できること、そして徳島市が主体となってお願いすること、私たちが持っているバックグラウンドでできること、色々な方向からSDGsを推進できるように皆様のお知恵を拝借したいと思います。

今日、最後となりますけれど、これは話しておきたい、こういう意見も言いたいということがございましたら、遠慮なく手を挙げていただけたらと思います。いかがでしょうか。

(委員)

「ジェンダー部会」に参加させていただきましたけれども、話が出た中で色々な課題があるんですけども、実際どんな課題があるのか掘り起こしが必要だろうと先ほども話が出ていましたので、そのためには企業、大企業だけではなく中小の企業も含めてですが、実際の生の声を聞いた方がいいですね。皆様のご協力もいただきながら、声を拾い上げるという形を進めていきたいと考えております。

(会長)

ありがとうございました。実際、SDGsは机上の空論を続けても実りがないので、皆様の生の声を聞かせていただくということを大事にしたいと思います。

多くの徳島市民の方が新聞の紙面等の報道で、徳島市が未来都市に選定されたということをご存じです。ただ、市民の立場では、それにより私の暮らしはどう変わるの？ということが一番の注目点になります。徳島市が未来都市に選定されてこういう取組をしていきますということをもっともっとアピールができればと思いますので、皆様のご協力をお願いできればと思います。

(委員)

私は「ジェンダー」の方に入らせていただいております。福祉事業をしておりますので、障害のある方、ご高齢の方、地域の皆様に密着した支援をしています。今回話をいただきすごく嬉しくて、徳島市がこれから県外に向けて発信できる中心地になるのだなと思い、また、やるべきことがたくさんあるなと思っています。

私自身が福祉の世界にずっと入っておりますので、その視点からの話になると思いますが、ご縁があって皆様とお近づきになりましたので、色々と学んでいきたいと思っています。私自身が発信していきたいのは、誰にも優しいまちになっていくことです。徳島市ってあったかいとか優しいまちだなと思えるのはちょっとした言葉や仕草だと思うんです。それを市民の方に広げていくためには、私たちの活動、伝え方だと思っています。できることはいっぱいあるのかなと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。

(会長)

ありがとうございました。

(委員)

テレビを見ていたら、ハワイの海がコロナで観光客が激減したことによって、従来のきれいな海に戻ったそうです。今までは観光客によってかなり汚れていた海がきれいになった。人が集まったら環境が悪くなる。世界の人口は2050年には100億人近い97億人になり、2100年になったら減少に転じるそうです。このまま人口が増えたら、大事な問題であります地球の温暖化あるいは環境汚染、地球を取り巻く環境が続いていくのだろうか。果たしてこの地球は100億人に近い人口を維持できるのか。人口が減少すれば、温暖化も食い止められるのではないかと思ったのですが、それぞれの国の事情もあります。小さく考えれば、企業にしても家庭にしても学校にしても、最終的にはいつまでも引き続いて幸せになるような生活をしてほしいというのはすべてSDGsではないかと。我々の生活はすべてSDGsと関係してきます。社会に貢献していくような企業の発展がSDGsに繋がっていくのだろうと考えました。

(会長)

ありがとうございました。自分のこととしてSDGsウォッシュヤーにならないようにみんなで考えていかなければいけないというお声でした。

以上で、本日予定しておりました議事はすべて終了しました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

(事務局)

今後の検討につきましては部会を中心に行うこととなりますが、適宜、他の部会で検討されている内容については全体で共有できるようにさせていただきたいと考えております。

部会の開催日程につきましては、各部会の担当職員より個別に連絡させていただきますので、引き続きよろしく願いいたします。

事務局からは以上です。

5 閉会

(事務局)

これもちまして、第1回徳島市SDGs未来都市実現協議会を終了いたします。皆様お疲れ様でした。

以上